

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		～	R6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 1日		～	R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性や課題に合わせた個別学習や集団活動の計画・実施。 少人数での活動を行うことができるため一人一人にじっくり関わることができる 利用児童にとって安心して通える場所になっている 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数でありながらも他者を意識する活動を取り入れている 集団活動に合わせて個々の計画書やアセスメントでの課題に合わせた活動の準備・環境調整を行っている 保護者や関係機関との連携を図る機会を設定している 本人の不安や心配なこと等本人を取り巻く環境について知り配慮しながら課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の課題についてより詳しくアセスメントし本人の状況の理解に努める。 動作の定着や獲得に向けて継続し、スモールステップでの課題の設定を行う 本人を取り巻く環境の把握 課題を合わせながら本人が楽しく通える居場所を確保する
2	<ul style="list-style-type: none"> 看護師を配置していることで医療的ケア児の支援に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児の体調の管理や、体調に合わせた活動の設定を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師を含めた支援の方向性を設定する
3	<ul style="list-style-type: none"> 茶話会の実施やBAND・広報誌で活動の様子を紹介できている 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の様子を詳しく、伝えるよう心がけている。また、日々の活動が伝わりやすいように写真や文字を用いて発信している。 テーマを設定した茶話会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに合わせた交流の場の設定。参加しやすいテーマ設定や環境設定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 少人数であるがゆえに同年代との関わる機会が少ない 障がい特性の有る無にかかわらず複数で関わる機会のすくなさ。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後デイの児童枠の確保しているため全ての要望に応えることができない 地域の児童施設との関りの少なさ 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や児童館等との交流の場の設定
2	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階の知識不足 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい特性と通常発達について理解できていない部分が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の専門的視点や機能強化員からのスーパーバイズを受ける 研修機会を設ける
3			